



た や しゅう すけ
田 矢 修 介

けん と く ら ぶ
県都クラブ

休日・夜間応急診療所の更なる充実について

問 津市総合計画前期基本計画では平成24年度を目途に「恒久施設として整備」と謳われていたが、後期基本計画（案）では「機能充実」となっている理由は何か。地域医療体制の充実に関する満足度は、前期基本計画策定時の平成17年度31%から平成23年度は24.1%に下がっている。この現実を真摯に受け止め、市民満足度の向上に資する施設の充実を求める。

答 これまでは、現在の夜間・成人診療所の診療サービス等の内容を変えることなく、新しい施設へ移すという考え方で「恒久施設として整備」するとされていた。

しかし、夜間・休日診療所の機能の充実を図ることが、動き出せない救急車の問題解決に資することになるとの考えから、今後、救急医療体制の検討を行う中で、どのような夜間・休日診療所を整備するのか議論していきたいと考えている。

このことから、単に新しい施設をつくるということではなく、むしろ機能充実ということを強調した表現としたもので、決して恒久施設とすることを断念したのではない。機能を充実した上でしっかりとしたものをつくるという趣旨である。

●その他の質疑・質問●

- 災害時医療の在り方について
- ・急性期災害医療の需要と支援のマッチングなど救護所のマネジメントシステム構築は
- ・被災地で使用する医薬品供給や処方せん調剤に関する課題は
- ・PTSDなど被災者へのメンタルヘルスの対応は
- ・弾性ストッキング着用により避難所におけるエコノミー症候群、脳梗塞発症の予防を など



▲年1万人以上に利用され更なる充実が望まれる応急診療所



は せ が わ ゆ き こ
長谷川 幸子

に ほんきょうさんとう つ し き だん
日本共産党津市議団

待機児童解消のために公立保育所の増設を

問 待機児童解消に向けては、保育所の増設、保育士の増員が基本である。女性の自立を促し、女性が働き続けるために、働く女性の産休明けからの職場復帰を保障するために、待機児童解消は待ったなしである。

待機児童の解消は、公立保育所の増設以外にないと考えるがいかがか。

答 保育所への入所を希望される保護者は年々増加しており、毎年4月当初には待機児童は発生していないが、年度途中では入所を待っていただくケースが発生している。平成22年度から民間保育所3園の新設と1園の増改築を支援し、305人の定員拡大を図ってきたが、平成24年10月1日現在、102人の待機児童が発生している。本年度も民間保育所3園の増改築の支援を予定しており、さらに80人の定員拡大を図るが、公立保育所においても何らかの対策を図っていくために、津市独自の新たなこども園づくりの議論を始めている。

民間保育所の支援とあわせて、津市独自のこども園の整備を図る中で待機児童の解消に努めていきたい。

●その他の質疑・質問●

- 「いじめ」を解決できる学校体制づくりを。こどもの命が最優先の教育を。教員の「多忙化」の解消を。養護教員の複数配置、カウンセラーの増員でいじめを相談できる体制づくりを
- 香良洲橋の架け替えについて
- 御殿場海岸の松枯れ対策
- 子どもたちを交通事故から守るために、通学路点検、ヘルメットの着用の徹底を など



▲子どもたちのすこやかな成長を保障する保育所の充実を